

2023-2024 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 8月

作成者：永井みちる

作成日：2023年9月9日

皆様、初めまして。この度、2023年度の福井県奨学生としてフィンドレー大学に留学させていただいております、永井みちると申します。福井県奨学生としてこのような素晴らしい留学の機会をいただけたことを心より嬉しく思っております。福井県国際交流協会の方々をはじめとし、この留学を支えてくださっているすべての方々に感謝し、日々努力してまいりたいと思います。

自己紹介

私は現在、福井大学医学部医学科の2年生です。アメリカに住んでいたことのある両親の影響で、幼いころからアメリカの大学への憧れがありました。また、国際語である英語を習得すること、他分野の学問に触れること、そして異なる背景を持つ人々との関わりが自分の世界を広げ、医師としての素養を培うと考え、アメリカへの留学を決意しました。この10か月は語学の習得に励むだけでなく、人との出会いと交わりを大切に過ごしていきたいと思っています。

フィンドレー大学について

フィンドレー大学はアメリカ・オハイオ州の北西部に位置する小さな町、フィンドレー市にあります。日本との時差はなんと-13時間で、羽田空港からデトロイト空港への直行便で12時間、さらにそこから車で1時間半ほど離れたところにあります。教育学部や薬学部など様々な学部がありますが、獣医学部をはじめとした動物に関わる勉強をしている学生が多いように感じます。また日本語を学ぶ学生もいます。

生活について

キャンパス内は緑が多く、リスやウサギを毎日のように見かけます。芝生に寝そべって課題をしている学生やハンモックに揺られている学生もいて、このキャンパスの穏やかな雰囲気がとても気に入っています。

学生の多くはキャンパス内にある寮またはグループハウスで暮らしています。留学生の多くは一軒家をシェアするグループハウスに住み、私も日本人3人、アメリカ人2人の計5人で生活しています。5人中3人は一人部屋ですが、私はアメリカ人のルームメイトと二人で部屋を使用しています。彼女は同い年の水泳の学生アスリートで、朝早くから練習に行き、そのあとに授業に行くというなかなかハードな生活をしています。私も初心者ですが福井大学では水泳部に所属しています。水泳という共通点もあり仲良く過ごしています。ハウスメイトはみなきれい好きで思いやりがあり、いまのところ特に問題もなく快適に生活しています。



5人で暮らすグループハウス

キャンパス内には食堂やカフェ、フードコートがあります。食堂はミールプランに申し込むことで利用でき、カフェやフードコートでは Derrick Dollars と呼ばれる学内で使える通貨を利用します。食堂はビューフェスタイルで、ハンバーガーやピザはもちろんアレルギーに配慮された食事まで、好きなものを選んで食べることができます。フードコートには寿司やチャーハンなどアジアの料理を扱っているお店もあり、



ある日の食堂での食事

とてもおいしいです。ほとんどの日本人留学生はミールプランを利用して食堂で食事をしているようですが、私は基本的には自炊をして生活しています。毎週土曜日には Walmart というスーパーへのシャトルバスが出ており、また大学近くにはアジアンスーパーもあるので自炊するのに問題はありません。先日、Walmart で鍋の具材になりそうなものを探していたところ、なんと白菜を見つけました。こちらでも普通に食べられているのでしょうか。

8月の出来事

・オリエンテーション

到着して最初の1週間は新入生のためのオリエンテーションがありました。毎日様々なイベントが開催され、楽しくも忙しい1週間でした。中でも印象的だったのはボランティア活動です。ランダムに振り分けられたグループで教会や劇場などに行くのですが、私たちのグループはリサイクルショップで木の板を積み直す作業をしました。同じグループの学生に勇気をかけて話しかけたところ、初めて現地の友達ことができました。

オリエンテーション期間のイベントの1つ、Movie night



・牛丼パーティー

日本人留学生の友人の提案で、現地の学生を集めて牛丼を振る舞いました。アメリカには薄切り肉がなかなかないと聞いていたので心配していましたが、ケバブ用の薄切り肉で代用し、想像していた通りの牛丼を作ることができました。現地の学生もとても喜んでくれて、楽しいひと時となりました。

本報告書に関してご要望やお問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

nagaim@findlay.edu